

ちっちゃいものくらぶ

クリオネ〈ハダカカメガイ（裸亀貝）〉さん

流氷の天使と呼ばれる。学名「クリオネ・リマキナ」
クリオネ：ギリシャ神話の「クレイオ（海の妖精）」
リマキナ：ギリシャ語「ナメクジに似た」って意味。
英名：Sea Angel（海の天使）



大きさは2~3cm。生まれた時は貝殻があるけど、大人になると貝だけになる。半透明の身体。これはなるだけ目立たないようにして襲われる危険性を少なくしてるかららしい。頭だと思ってるのは、実はお腹。この中に口と内臓がある。

泳ぎはあんまり得意じゃない。流れのなすがまま。流氷の下は波が立たないから海流も弱く、クリオネさんにとっては暮らしやすい。海水の7~8割が凍っても大丈夫なんだって！

食べ物:子どもの時…植物プランクトンをろ過して食べる

大人…小動物、特に同じ巻貝の仲間のミジンウキマイマイ

半年から1年に一度くらいマイマイを食べられれば生きられるそうです。超省エネだね。

クリオネさんのお食事タイム

臭いでマイマイとかを見つける → 近づく
→ 頭からバツカルコーン（口円錐）っていう
6本の手を伸ばしてご飯を抱え込み、養分を
ゆっくり吸う

かわいい姿から豹変するお食事タイムのクリオネさんは、多くの人間がびっくりするけど、たくさん卵を産むために一生懸命なんだって。だから「バツカルコーン」もあたたかく見守ろう！



生殖: 2匹のクリオネさんがお腹をくっつける

- どっちかがオスになり、どっちかがメスになる
- メスになった方のお腹に卵を産む
- 4時間後くらいに生殖孔からゼリー状のかたまりを海にほおりだす（かたまりの中の卵の数は100~1000個）
- 約1年で大人になる 寿命は2~3年

ん？…ってことは、一生の間にオスにもメスにもなれるのかな？どっちをやるかはじゃんけんで決めるのかな？